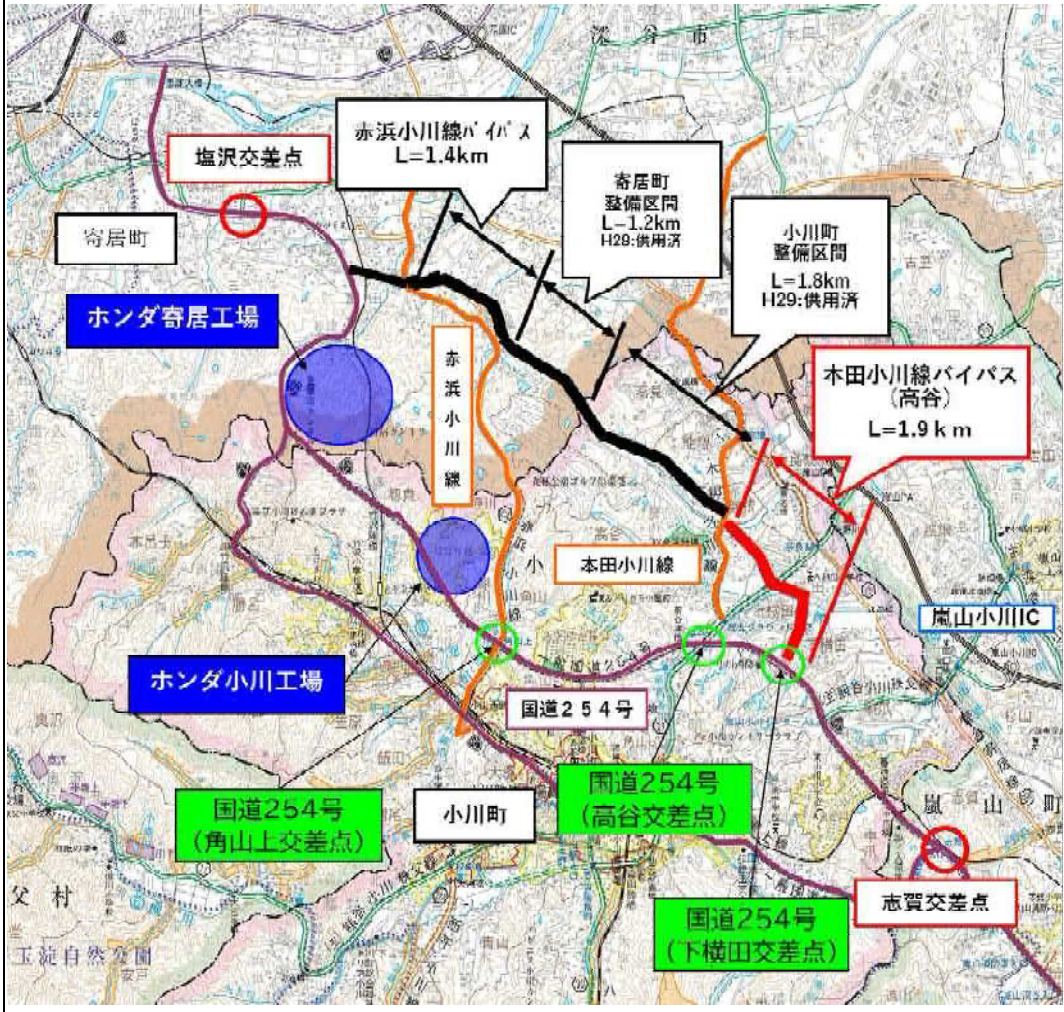


事後評価概要資料

番号	202		担当課名 道路街路課	
事業名	道路改築事業		事業主体	埼玉県
路線・河川・地区名	一般県道本田小川線バイパス（高谷）		事業箇所	比企郡小川町
事業完了年	令和5年3月		事業完了後の経過年数	2年
事業概要	目的	渋滞の解消、産業拠点支援		
	必要性	一般県道本田小川線は深谷市と小川町をつなぐ南北方向の道路で、本田技研工業（株）寄居工場の立地に伴う交通量の増加に対応するためのバイパス整備である。 特に、本整備区間近隣にある国道 254 号と一般県道熊谷小川秩父線が交わる高谷交差点は、朝夕の通勤時を中心に慢性的な交通渋滞が発生しており、国道 254 号の交通渋滞の解消や周辺生活道路への通過車両排除のため、本バイパスの整備を行った。		
	効果	広域的な幹線道路の交通の円滑化が図られ、慢性的な交通渋滞の緩和や走行時間の短縮がなされた。		
	事業内容	総事業費	2, 5 0 5百万円（税抜）	事業期間
		延長：1,940m、幅員：13m、車線数：2車線（両側歩道）		
事業概要図 				

事後評価項目	事業の効果の発現状況	(1) 渋滞の緩和			
			開通前	開通後	差
		最大渋滞長(m) ※高谷交差点 (国道254号)	1,180	20	-1,160 (98.3%減)
		※交通量調査：R1.10 (開通前)・R6.11 (開通後)			
		(2) 国道254号の交通量の減少 [台／12h] (平日)			
			開通前(R1.10)	開通後(R6.11)	差
		高谷交差点	9,632	8,523	1,109
		角山上交差点	8,634	7,510	1,124
		(3) 走行時間の短縮 (志賀交差点～塩沢交差点)			
			走行時間 (分)	短縮時間	
	国道254号 (開通前)	26	-		
	国道254号 (開通後)	20	6		
バイパス	16	10			
		※バイパス：県道本田小川線～県道赤浜小川線ルート			
効果分析の要因の変化	再評価時 (令和2年度) との比較 ・ 総事業費 2,096 百万円 ⇒ 2,505 百万円 ・ 供用年度 令和5年度 ⇒ 令和4年度 ・ 計画交通量 8,700 台/日 ⇒ 9,075 台/日 (実測)				
事業実施による副次的効果	(地域の活性化) 関越自動車道の嵐山小川インターチェンジへのアクセスが強化され、物流が効率化することで企業立地に寄与する。 (防災機能の向上) 第一次特定緊急輸送道路である国道254号の補完機能が確保された。 (安全な通行空間の確保) 両側歩道が整備されることにより、歩行者の安全な通行空間が確保された。 また、国道254号の交通量が減少したことにより通行者の安全が向上した。				
評価結果及び対応方針(案)	(評価結果) 本バイパスの整備により、ホンダ寄居工場の本格稼働後においても主要交差点の渋滞緩和や走行時間短縮が図られ、地域交通の円滑化に寄与した。 また、歩行者・自転車通行空間の確保や交通転換における国道254号の交通量減少など、通行者の安全性が確保された。 (対応方針) 事業目的に見合った事業効果の発現が確認されており、改善措置の必要性は無い。 また、今後も継続して事業効果が期待されることから、再度事業評価を行う必要は無い。				
特記事項					